

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
176	176	人権啓発の推進	01	01	一般会計	
基本施策	38	互いの人権を認め合い、すべての人の人権を尊重す	02	02	総務費	
			01	01	総務管理費	
			18	18	人権啓発費	
担当部課名		阿山支所 人権政策推進室	101	101	人権啓発推進経費	
作成者氏名	藤岡 勉	連絡先	43-0334	細々目	01	人権啓発推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	阿山地区の住民・自治会・団体等に対して、部落問題をはじめとするあらゆる人権問題をなくすための啓発事業を推進します。	フェスティバル・人権講演会等への参加や自治会等による人権講演会開催によって、住民一人ひとりの人権意識が向上します。		
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発地区懇談会の開催 17年度に実施した3区を除く残り26区の内、本年度は13区の開催予定です。 阿山地区人権フェスティバル2006の開催 あやま文化センター(さんさんホール)において、12月2日に開催予定です。 自治会等の主催による人権講演会講師謝礼の支援 1件あたり3万円を上限として、10件の実施を計画しています。 人権啓発団体への活動助成 ヒューマンライツ阿山に対し、調査研究資金として20万円を助成します。 			
開始年度	平成 12 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1.8	2.8	2.8
人件費合計(A)	12,960	20,160	20,160
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,211	1,791	1,791
委託料	432	500	500
補助金	200	200	200
報償費	69	360	360
その他	510	731	731
合計(A+B)	14,171	21,951	21,951
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国庫支出金	149	391	391
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	14,022	21,560	21,560
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
人権啓発地区懇談会の開催	区	3	13	13			
阿山地区人権フェスティバル2006の開催	回	1	1	1			
	人	365	372	380			
自治会等主催の人権講演会講師謝礼支援	件	0	10	10			
人権啓発団体への活動助成	団体	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
人権啓発地区懇談会の参加者比率	阿山支所管内における人権啓発地区懇談会の開催区の総世帯数を分母とし、総参加者の人数を分子とする参加者比率を指標としました。	%	36 目標 (50)	38	40
阿山地区人権フェスティバルの参加者比率	開催会場の最大収容員数と入替者を合計した数(384人)を分母とし、参加者の人数を分子とする参加者比率を指標としました。	%	95 目標 (100)	97	99

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

人権啓発地区懇談会は「人権を考えるつどい」と称し、平成13年度から実施しておりますが、現実には阿山地区の29区を一巡するには2～3年かかっています。いずれの区においても参加者人数の頭打ちや参加者の固定化という傾向が見られます。ついては、幅広い年齢層に迎合する魅力的な研修内容を企画することが当面の課題となります。

阿山地区人権フェスティバルは平成12年度から毎年開催しており、昨年度の開催時には空席がほとんどない365名(入替者を含む。)の参加者を記録しましたが、将来的には、開催会場の員数制限に縛られないような開催方法の検討が今後の課題となります。

評価	必要性	4	人権啓発の成果というのは、現実には数値で表しにくいものですので、アンケート調査結果や講演会等の参加者数とかの表面化したものでしか計れない部分があります。したがって、真に人権意識を変革していくには、時間をかけて粘り強く啓発を継続していくしか方法はないと考えます。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		